

点検整備記録簿

区分及び記号			
良	✓	交換	X
分解	○	修理	△
調整	A	清掃	C
補付	T	給油	L

■ … 1年毎

■ + □ … 2年毎

点検の結果及び整備の概要

自動車登録番号又は車両番号その他の自動車は車台番号

運転席で	ハンドル	ブレーキペダル	駐車ブレーキレバー	クラッチペダル	ボイパーペダル	冷却装置	ギアボックス及びパワーステアリング
	操作具合	遊び及び踏み込んだときの床板とのすき間	引きしろ(踏みしろ) ブレーキの効き具合	ペダルの遊び及び切れたときの床板とのすき間		ファンベルトの緩み及び損傷 水漏れ	●取付けの緩み ベルトの緩み及び損傷 パワステの油漏れ及び油量
マスターシリンダ	点火装置	バッテリー	エアークリーナ	エンジンオイル	公害発散防止装置		
機能、摩耗及び損傷	●点火プラグの状態 白金又は白金イリジウムプラグの場合行わないことである 点火時期 ディストリビュータキャップの状態	ターミナル部の接続状態 電気配線接続部の緩み及び損傷	○エアークリーナ・エレメントの状態	潤滑装置の油漏れ	二次空気供給装置の機能 排気ガス再循環装置の機能 減速時排気ガス減少装置の機能 配管の損傷及び取付け状態		
液漏れ							
車を回って	タイヤ	フリップ・ボルト	フロント・ホイール	リア・ホイール	燃料蒸発ガス排出防止装置	プロバイガス還元装置	
	○タイヤの状態 (空気圧・亀裂・損傷・異常な摩耗・溝の深さ)	○ホイール・ナット及びホイール・ボルトの緩み	●フロント・ホイール・ベアリングのガタ	●リア・ホイール・ベアリングのガタ	配管等の損傷 チャコールキャニスタの詰まり及び損傷 チェックバルブの機能	メーターリングバルブの状態 配管の損傷	
車の下から	ブレーキ	ブレーキディスクとバンド及びディスクキャリア	サスペンション類	ショック・アブソーバ	トランスミッション及びトランスファ		
	ホースパイプの濡れ、損傷、取付状態	○ディスクとバンドのすき間 / ○バンドの摩耗 ディスクの摩耗及び損傷 / ディスクキャリアの液漏れ ディスク・キャリアの機能、摩耗、損傷	取付部及び連結部の緩み、ガタ、損傷	油漏れ及び損傷	○油漏れ及び油量		
テスト等で	プロペラシャフト及びドライブシャフト	デマレンシャル	エグゾーストパイプ及びマフラ及びC.O等発動防止装置	車体、車体	燃料装置	かじ取り装置のロッド及びアーム類	
	○連結部の緩み 自在継手部のダスト・ブーツの亀裂及び損傷	●油漏れ及び油量	○マフラ等の取付けの緩み及び損傷 マフラの機能 触媒反応方式排出ガス減少装置の取付けの緩み及び損傷	緩み及び損傷	燃料漏れ	●緩み、ガタ及び損傷 ボールジョイントのダスト・ブーツの亀裂及び損傷	
分解点検	ホイール・アライメント	ブレーキテスト又は走行テスト	エンジン	ホイールシリンダ	ブレーキドラム及びブレーキシュー	○…1年当たりの走行距離5千km以下、 ●…2年間の走行距離1万km以下、 それぞれ前回点検したことが明確である時1回に限り省略可 ●点検整備の際に分解を伴った場合には、チェック記号(上記の左)を記入したうえで○で囲む。	
	●ホイールアライメント	ブレーキの効き具合	排気の状態	油漏れ 機能、摩耗及び損傷	○ドラムとライニングとのすき間 ○シューの運動部分及びライニングの摩耗 ドラムの摩耗及び損傷		

その他日常点検すべき事項

- 原動機 (ファンベルトの張り具合・損傷・エンジンのかかり具合・異音・低速・加速状態・エンジンオイルの量・冷却水の量)
- 走行装置 (タイヤ空気圧・亀裂・損傷状態)
- 制動装置 (リザーバ・タンクの液量)
- バッテリー (バッテリーの液量)
- 灯火装置及び方向指示器 (点灯・汚れ・損傷)
- 視野を確保する装置 (ワイパーの払拭の状態・ウインドウォッシャの液量と噴射状態)

交換部品等

CO, HC 濃度 (アイドリング時)		タイヤ溝の深さ (1.6mm以上)	前輪 左 mm 右 mm	後輪 左 mm 右 mm
CO	%	ブレーキパッド、ライニングの厚さ	前輪 左 mm 右 mm	後輪 左 mm 右 mm
HC	ppm		後輪 左 mm 右 mm	後輪 左 mm 右 mm

点検又は整備を実施した者の氏名又は名称及び住所

点検又は、分解整備時の総走行距離	km
点検年月日	年 月 日
整備完了年月日	年 月 日

(注) この点検整備記録簿の保存期間は、記載の日から2年間です。

自家用乗用車等(定期点検基準の別表第六)